



告諭（おことば）

曹洞宗管長 江川辰三
えがわしんざん

私たちは、今、たくさんの課題を前に、その生き方が問われています。
東日本大震災、大津波、東京電力福島第一原子力発電所事故から
すでに四年の月日がたちました。にもかかわらず、復旧復興の道のり
はいまだ遠く、多くのご遺族や今も避難生活を余儀なくされている
二十四万余の人びとの悲しみと苦難は計り知れません。
さらに、地球温暖化と多発する自然災害、戦争、貧困、格差、いじめ、
そして自死等の深刻な問題が山積しています。

この現実の中で、「人権の尊重、平和の実現、環境の保全」の取り組み
を柱とし、自己中心的な快適さや便利さを求める暮らしを見直し、原子
力に頼らない社会、一人ひとりのいのちが大切にされる社会の実現
を願っています。

そのために、本年度も四摂法の一つである「布施」、物でも心でも惜し
みなく分かちあい、互いに生かしあうみ教えに学び、実践いたします。
道元さまは、「布施」とは貪らないことと示されました。それは、へつ
らうことなく、見返りを求めることのない生き方です。
瑩山さまは常に大いなる慈悲心をもって、一切の衆生に坐禅無量の

功徳をめぐらすように説かれました。

本年は、大本山總持寺二祖峨山韶碩禪師六百五十回大遠忌の年にあた
ります。皆さまとともにこの勝縁を慶び、報恩のまことを捧げましょう。
峨山さまが身をもつて示された「相承」のおさとし、それは、み仏と
ご先祖の前で姿勢を調え息を調え心を調えて静かに坐り、一仏兩祖の
み教えを学び、受け継ぎ、そして実践を通して丁寧に伝えることです。
私たちは、今、「布施」のみ教えを相承し、人びととともに、生きとし生
けるものの安らぎを願い、ともに寄り添い、ともに歩む菩薩行をすすめ
てまいります。

南無釈迦牟尼仏
南無高祖承陽大師道元禪師
南無太祖常濟大師瑩山禪師

